



## はしかが急増中！～はしかはなぜ怖い？～

今年に入って、はしかが急増しています。国内の感染者数は3月末で150人を超え、昨年同月と比べて大幅増となっています。日本は2015年から土着の麻疹ウイルスが存在しない「麻疹排除国」となっていますが、現在の流行は東南アジアなど海外からの輸入による再流行と考えられています。はしかは「麻疹ウイルス」の感染により発症しますが、感染力が非常に強く、重症度が高いため死に至ることもある怖い病気なのです。その特徴は以下の通りです。

- ★空気感染で広がるため感染力が非常に強い！感染力はインフルエンザの10倍と言われます。
- ★感染した人の30%に肺炎や脳炎など合併症を引き起す！死亡することも稀ではありません。
- ★はしかに感染して5～7年後に遅発性の脳障害(SSPE)を起こすことがある！

はしかから自分自身を守り子どもたちを守る唯一の対策はワクチンを接種することです。

### 麻疹ワクチン空白世代とは？

日本の麻疹ワクチンは時代とともに変遷してきたため、生まれた年によって接種回数が異なります。特に現在約36～53歳の世代は空白世代といわれ、免疫が不十分な可能性があります。

ワクチンの接種歴が不明、1回のみの方は追加接種を検討してください。

#### あなたのワクチン接種回数は？【生まれ年別チェック】

※2026年時点の年齢で確認できます



### 3月の感染症情報

B型インフルエンザは3月に入り減少傾向です。定点あたりの発生数は3月後半で10人前後です。

感染性胃腸炎が増加しました。家族内感染もみられます。

RSV感染症が増えてきました。乳幼児のお子さんは要注意です。

### 3月の利用状況

3月の利用延べ人数は111人、1日平均利用人数は5.3人でした。年齢別では2歳児が29人で最も多く、次いで5歳児19人、3歳児15人の順でした。疾患別では、B型インフルエンザが29人で最も多く、次いで感染性胃腸炎が25人の順でした。

新しい年度が始まりました。感染症も昨年来から流行していたインフルエンザが下火となり、感染性胃腸炎やRSV感染症へと流行が移り変わってきました。世界の平和が訪れることを切に願います。